

## 1. インターバンク市場

3/22~25の無担保コールO/Nは、積み期前半ということもあって様子見をする参加者が多い中、22日の国債の大量償還の影響もあり、調達サイドの参加者が減少していた。日銀当座預金残高は概ね260~270兆円程度で推移した。無担保コールO/Nは、週を通して概ね▲0.015~0%の出合いを中心に推移した。マイナスレートでの運用先が若干増加しつつある一方、システムや経理処理上の問題からマイナスレートでのオファーを見合わせている先も依然として多かった。また、一部では0.001%まで取り上がる動きも見られた。22~24日の無担保コールO/N物加重平均レートは▲0.004~▲0.003%での推移となった。ターム物では、地銀業態等から▲0.01~0%近辺での調達が見られた他、証券業態のロール案件が散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、23日に3M物で1兆5,000億円、24日に2W物で8,000億円がオファーされ、それぞれ応札額は560億円(期落ち分8,150億円)と680億円(期落ち無し)で札割れとなった。

3/28~4/1の資金需給は、財政要因として年度末諸払いがあり、大幅な余剰となることが見込まれる。主要なイベントとしては4月1日に日銀短観、米国雇用統計の公表などが予定されている。

## 2. オープン市場

3/22~25の短国市場は、特段の材料も無い中やや軟調な展開が続いていたものの、週末にかけて年度末の担保ニーズから買いが散見される様になり、小じかりの展開となった。24日には3M物の入札が実施された。WI取引では▲0.105%でまとまった出合いが見られたこともあり、平均落札利回▲0.1038%、按分落札利回▲0.1002%と事前予想より若干堅調な結果となった。セカンダリー市場では、▲0.12~▲0.105%で少額の出合いが見られた程度であった。25日には短国買入オペが10,000億円で実施され、平均利回較差+0.003%、按分利回較差+0.001%と落ち着いた結果となった。

3/22~25のCP市場は、建設、電機、ノンバンク業態等のまとまった案件が見られたことで、発行総額は週間で8,000億円程度に達したものの、約半分が期内償還物であり、盛り上がり欠けの一週間となった。a-1格以上の発行レートは、週を通して概ね0%近辺での推移となった。また、22日から証券保管振替機構が暫定的にマイナス金利での発行に対応したこともあり、一部ではマイナス金利での取引が観測された。現状ではクレジットリスクのあるCPをマイナス金利で購入する投資家がいなかったことから、CP等買入オペの見合いでディーラーが購入したものと見られる。今後もマイナス金利での発行が局所的に観測される可能性はあるものの、現時点の金利水準では一般化することは考えにくい。

3/28~4/1の短国市場は入札が無く、閑散なマーケットが予想されるものの、年度末絡みの動きが見られる可能性も考えられる。CP市場は月末の大量発行が予定されているものの、有利子負債圧縮の動きから、市場残高は例年通り減少すると予想される。28日にはCP等買入オペが6,000億円(3月31日スタート)でオファーされる予定となっており、落札水準が注目される。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,900億円程度の還収超見通し。財政等要因は、28日の介護保険制度運営推進費の支払、30日の公共事業費の払い等があり、2兆900億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆2,800億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<28日>TB3M;償還47,000億円・発行45,000億円

2016年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/28(月)	100	6,500	6,600	国債買入 全店共通(固) CP買入 社債買入 国債補充供給		12,800 700 1,500 1,300	15,800	22,400
3/29(火)	1,000	△ 2,000	△ 1,000	全店共通(固) 短国買入	△ 500 △ 2,400	600 10,000	8,200	7,200
3/30(水)	0	16,000	16,000				0	16,000
3/31(木)	△ 200	5,400	5,200	CP買入		6,000	6,000	11,200
4/1(金)	1,000	△ 5,000	△ 4,000	全店共通(固)	△ 1,100		△ 1,100	△ 5,100
週間合計	1,900	20,900	22,800		△ 2,700	31,600	28,900	51,700

(注) 上表の3/28は日銀予想、3/29以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/28(月)			2月の米個人所得・消費支出 欧州・英国祝日(Easter Monday)
3/29(火)	2月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 2月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 2月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 2月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)		1月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 3月の米CB消費者信頼感指数
3/30(水)	2月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50)		
3/31(木)	2月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		3月のシカゴPM景況感指数 3月のユーロ圏消費者物価指数速報値 10-12月期の英GDP確報値
4/1(金)	3月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 電力小売全面自由化		2月の米建設支出 3月の米雇用統計 3月のISM製造業景況指数

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。